



## ひよこ組 9月のクラスだより

2021年 9月10日(金)



残暑と、涼しさと雨の繰り返しの中、虫の音が「リリリーン」と響き渡り、秋を感じる季節となりました。コロナウィルスのデルタ株の感染力が強く、低年齢児まで感染が広がるなか、感染予防の為家庭保育のご協力頂きありがとうございます。そのような状況のなかですが、登園してくる子ども達は、室内や廊下をとどここ走ったり、手押し車を押したり、すり這いや高這いが上手になり、室内や廊下を探索し、元気に過ごしています。

コロナウイルスへの対策には万全を期して、9月はテラスや園庭に出て開放感や気持ちよさを感じながら遊びたいと思います。すべり台や草花、虫さんたちも子ども達をまっていることでしょう。

### ☆手押し車を押せるようになったよ！

坐位から、高這いやすり這いで、室内を移動するようになり行きたい所に行ってはつかまり立ちや伝い歩きをしたり、一人歩きで探索する子どもも増えて行動範囲が広がっています。自分で自由に動き回ることを楽しみ好奇心もいっぱいです。つかまり立ちからそのまま、手を離し一人で立ったり、1、2歩あるく子どもが増えてきたので、子ども達の立とうとする意欲や歩こうとする気持ちを受け止めて手押し車を出してみました。子ども達は、早速取っ手を自分で持ち前へ押し進んでいました。手押し車は前へ押すと車についている犬やゾウの動物たちが回転し、ガタゴトと、音が鳴ったり、目線が高くなり視界も広がる事が、子どもたちも嬉しいようで、ニコニコしています。何度か押すと、方向転換も出来るようになって来ました。



### ☆一緒に遊ぼうよ！

大きなソフト積み木の登り降りが大好きな子ども達、誰かが登ると、他の子どもたちも負けじと後に続きます。手足の力が強くなってバランスを取ることが出来るようになって来ています。また、高い所まで登れると、「あ、あ」と、登れた嬉しさを声で表したり、井の字型の間に入ってみたりして楽しんでいました。ソフト積み木を出した頃は見ていた子どもたちも、何回か遊んでいくうちに興味を示し、登り降りをして遊ぶようになり嬉しく思いました。



### ☆指スタンプでぶどうが出来たよ



(担任…今丸・尾崎・二木)



☆第6号☆

令和3年9月10日(金)

日中はまだまだ暑いですが、日差しが少しずつ和らいできています。廊下や保育室の窓を開けると朝夕は心地良い風が吹き込んできて秋の到来を感じるようになりました。

帽子を被ると「お外行くの? やったー」と大喜びの子どもたち。久しぶりにテラスに出ると車に乗ったり転がるボールを小走りで追いかけたり、保育士や友だちの手を握ってテラスをお散歩したりと伸び伸びと全身を動かしながら遊んでいました。

9月は開放感や秋風の気持ち良さを感じながら、夏から秋への季節の移り変わりを肌で感じテラスや園庭で戸外遊びが楽しめるように計画しています。

1日の気温が変わりやすい時期でもありますが、子どもたちの体調には十分に気を付けながら元気に過ごしていきたいと思えます。



### 絵本の紹介

#### 『かおかおどんなかお』

「わらったかお」「ないたかお」「いたずらなかお」など色々な表情が出てくるのですが、その表情を見ながら身近なお友だちの顔を思い浮かべて、「～ちゃんみたい」と言ったり、「ママがいいよ～って泣いてるね」などと言っています。また、絵本に出てくる顔の表情を真似しながら絵本を見ている子どもたちは、繰り返し読んでいるうちに表情の真似っこも上手になり一人一人の子どもたちの豊かな表情が微笑ましくて思わず笑ってしまいます。



#### 『自分でできたよ』

簡単な衣服の着脱に興味が出てきた子どもたち。食事を終わると自分で衣服を脱いで着替えようとしたり、自分で足を持ち上げながらズボンに足を通そうとしたり「ばあ」と言いながらTシャツを引っ張って顔を出そうとしたりと月齢によって個人差はありますが、自分でやってみようと挑戦しています。自分でやりたいけど思うようにできず「あ～」「できん～」と泣いたり悔しがったりして葛藤する姿も見られますが、自分でやりたいという気持ちを大切に、さりげなく手伝いながら見守っています。自分でできた時にはたくさん褒めて子どもたちの自信に繋げていけるように関わっていこうと思います。ご家庭でも子どもたちが努力している時はたくさん褒めてあげてください。



#### 今月のクラスの壁面



「きのこ」シール貼りをしました。

「ぶどう と 柿」ぶどうは丸いスポンジでスタンプし、柿はローラーで色を塗りました。





# ちゅうりっぷぐみだより



☆第6号☆

令和3年9月10日

外に出れば、まだまだ汗ばむ季節ではありますが、朝、夕は少しずつ秋の訪れを感じるこの頃。園庭でとんぼを見つけた子どもたち。「とんぼだ!!」と言って、一生懸命追いかけています。夏の疲れが出やすい時期になりますので、一人ひとりの体調に留意してゆったりと過ごしていけたらと思います。



## ～ちゅうりっぷ組のエピソード～

みんなでブロックであそんでいたときのお話です。Aくんがお友だちからブロックをもらいたいのですが、言えずに半泣きになっていたら、、、Bちゃんが「かしてっていけばいいやん。」と。Aくんも「かしてー」と頑張る言う事が出来ました。子どもたち同士で、やり取りする姿も増えています。まだまだ、自分の思いを伝える事は難しいときもありますが、泣いて、笑って 毎日成長中のちゅうりっぷ組です!!

## ～感覚あそび～

タライに沢山浮かぶ「ぷよぷよぼーる」子どもたちにとっては、初めての感覚で「わー!! つるつる」「綺麗だね」とニコニコしながら触っていました。強く握ると、つぶれますが、その感覚が楽しいようで、ぎゅっと握って「ぐっちゃぐちゃ!」「見てみて! 先生!!」ときらきら光るボールを見せてくれました。今月も色々な感覚遊びを予定しています。片栗粉やスライムなどをつくって遊ぶ予定です。

## ～今月の絵本～

### 「み～んなあくび どんなあくび」



色々な動物が眠たくなります。どんなあくびをするかな?? 仕掛け絵本になっているので、子ども達も興味津々です! みんなのあくびはどんなあくび???



## ☆お知らせ☆

外が涼しくなってきたら、園庭遊びや散歩も予定しています。履きなれた靴での登園をお願いします。

2歳児担任：桑原、五島、太田



令和3年9月10日(金)

残暑の厳しさの中、朝夕は少しずつ涼しく過ごしやすい日も増え、秋の気配が感じられるようになってきました。子どもたちも、「セミの声がしなくなったね」「風が吹いたら気持ちいいよ」「夜、お外からリンリーンって聞こえる！」と季節の変化を感じています。

これから金比羅・皿倉登山、マラソン大会と初めての経験がたくさんの子すもす組です。いろいろな経験を積んでいながら、自分の力で乗り越えたり、友だちと一緒に力を合わせたりと、大きな成長の成果を見せてくれるこの時期を大切に過ごしたいと思います。

### 夏祭り

先月、夏祭りがありました。ゲームや屋台ごっこ、盆踊りなどをして過ごしました。屋台ごっこでは、こすもす組の子どもたちは、お客さんが遊戯室に入ってくると、大きな声で「いらっしゃいませー」と言っていました。しかし、初めはあまりお客さんが来てくれず、少し寂しそうにしていたのですが、諦めることなく「いらっしゃいませー」「美味しいお団子ですよー」と大きな声でお客さんを呼ぶ子どもたち。徐々にお客さんが集まり始め「はい、チョコ味のお団子です」「また来てください」と子ども同士でやりとりを楽しんでいました。お店屋さんだけでなく、お客さんにもなって、たんぼ組、ひまわり組のお店にも買い物へ行った子どもたちは、買い物袋いっぱいポッコーンやかき氷などを買って、笑顔でお友だちや保育士に見せていました。

夏祭りを通して、異年齢の友だちと関わる楽しさ、クラスの友だちと同じ目標に向かって製作する楽しさなどを感じながら、夏の思い出になったのではないかと思います。



### 美味しかったよ！

この夏、たんぼ組さんに分けてもらったトマトをクラスで育てました。交代で水やりをし、少しずつ赤くなっていくトマトに喜ぶ子どもたち。収穫をし、給食の先生に切ってもらい、一口ずつ試食。「甘くて美味しい」と話していました。普段トマトが苦手な子どもたちも、自分たちで育てたトマトは特別だったようで美味しく食べていましたよ。それからは、たんぼ組が畑で育てている野菜にも興味を持っている子どもたちです。

### ◇お願い◇

少しずつ過ごしやすい気候になってきました。園庭の体育遊びや、金毘羅山、皿倉山登山に向けて、園外への散歩も計画しています。長時間歩くと靴擦れを起こすこともありますので、履き慣れた歩きやすい靴で登園してくださるようお願いします。



こすもす組担任：崎野、中西

# ひまわりだより

2021年9月10日(金)

陽ざしにはまだ夏の名残もありますが、朝夕の心地よい風に、秋の訪れを感じる季節となりました。園庭に出ると木々にできている木の実を見つけたり、芝生の上を飛ぶ赤トンボと追いかけてっこをしたり子どもたちも夏から秋へ季節の変化を感じているようです。秋には金比羅・皿倉登山、マラソン大会を予定しています。行事を通して体力だけでなく、精神面でも大きく成長することと思います。



## 夏まつり

先月末、夏まつりをしました。今年はどうなお店をしたいか子ども達に聞いてみるとたくさんのお店があげられ、その中で特に多かったかき氷・わたあめ・りんご飴・やきとりのお店をする事に決めました。準備をする中で「こうしたら本物のかき氷みたいじゃない?」と作り方を工夫したり、「看板も作ろう」と提案しながらおまつりに向けて進めていきました。完成してくると「美味しそう」「やきとりのにおいがしてきた」など満足げな様子でした。

お店屋さん当日、ちゅうりっぷ組のお友だちが買い物に来ると「いらっしゃいませ〜」と大きな声で呼びお客さんが来ると「何味がいいですか?」「これにする?どうぞ」と優しく販売していました。お店屋さんだけでなく、交代でお客さんにもなりました。他のクラスの屋台にも行き両手いっぱいになるほど買うと、お食事コーナーで友だちと買った物を見せ合いながら楽しそうに食べて(あくまでも真似です)いました。1週間の予定が新型コロナウイルス感染拡大の為、3日間に変更になりましたが、夏まつりを通してクラスの友だちと同じ目標に向かって製作する楽しさなどを感じながら、夏の思い出の一つになったのではないかと思います。

## はやく食べたいな〜

暑くてなかなか行けなかったさつま芋畑に先日行ってみると、さつま芋の葉っぱを覆うように雑草が大量に生えていました。それを見た子ども達は「早く抜かないとさつま芋の栄養が無くなっちゃう」と雑草を抜いていました。5分ほどですが汗を流しながら一生懸命に抜いていましたよ。部屋に戻るとさつま芋の本を見ながら「葉っぱが枯れてきたらとっていいんだって」「大学芋を作って食べたいな」など収穫時期やどうやって食べるかなど話していました。芋ほりが出来る日を楽しみにしているひまわり組の子どもたちです。



## 〜おしらせ〜

涼しくなってきたので散歩に行く計画を立てています。長距離歩くので履きなれた運動靴での登園をよろしくお願い致します。

ひまわり組担任：草場



## たんぽぽだより

発行：令和3年9月10日（金）

陽差しにはまだ夏の名残もありますが、日の長さもずいぶんと短くなってきました。子どもに負けないほど力強く鳴いていた蝉の声も、いつの間にかコオロギや鈴虫の綺麗な音色に変わり、秋の気配を感じられるようになりました。子どもたちも「朝と夜は涼しくなってきたね」「秋の葉っぱ見つけたよ」「うろこ雲があった」と全身で季節の変化を感じています。

これから迎える実りの季節に、子どもたちの心も充実することができるよう、豊かな感性の育ちを支えたいと思います。



### 目指せ、金メダル！！

コロナ禍の中開催された東京オリンピック・パラリンピックも幕を閉じましたが、日本で開催されたということもあり子どもたちも「ニュースで見たよ」「日本の選手が金メダルとったって！」と身近に感じていたようでした。競技や日本の選手のことだけでなく、様々な国にも興味や関心が広がり「アメリカの旗って星がいっぱい」「この旗はダミンダ先生の住んでいる国の旗！」と国旗を絵に描いて遊ぶ姿も。

子どもたちにとって、様々な国の選手たちが真剣な表情で競技に挑み、悔し涙を流したり表彰台の上で嬉しそうにメダルを掲げている姿が印象的だったようで、すぐにオリンピックごっこが始まりました。どんな競技も“金メダル・銀メダル・銅メダル”を目指して一生懸命に取り組んでいます。惜しくもメダルを逃してしまった子どもたちも悔しそうな表情を浮かべながら「次は絶対メダルもらう！」とオリンピック選手顔負けのやる気に満ちあふれています。

夏の暑さも落ち着き、これからは体育の秋。園庭でかけっこや体操をしておもいきり身体を動かしながら、跳び箱や鉄棒、縄跳び、竹馬など少しずつ自分なりの目標をもち、その目標に向かって一杯に取り組むことを大切に、挑戦しようとする意欲や自信へと繋げていけるよう支えたいと思います。

10月には金比羅登山や皿倉登山、マラソン大会を予定しています。ふたばのオリンピックはこれからです！  
コロナに負けず、金メダル目指してみんなで頑張るぞー！

### 軽いものは浮かんで重いものは沈む…？

夏の暑い日差しの中、水やりや収穫などのお世話をしてきた夏野菜も終わりに近づいてきました。野菜の生長過程での気づきや発見だけでなく、少し科学的な要素も取り入れながら、身近な野菜に興味や関心をもつことができたらと思い、収穫した野菜（ナス・オクラ・ピーマン・トマト・きゅうり）を水に入れ“浮き沈み”の実験をやってみました。

“軽いものは浮かび、重いものは沈む”と予想していた子どもたち。オクラやピーマン、ナスは水に入れるとすぐに浮かび「ほら！やっぱり。軽いけ絶対浮くよ！」と納得顔。しかし、きゅうりには収穫時期を過ぎてしまった大きな物と食べごろの小さい物が。「大きいきゅうりは重たいけ沈む！」「小さいのは浮かぶよね！」と話していましたが、大きいきゅうりを水に入れてみると…重はずなのにブカンと浮かび「えー！！」「なんで？」と子どもたちから驚きと疑問の声が上がりました。「じゃあトマトは？大きいのも小さいのもある！」とトマトを水に入れてみましたが、そこでも不思議なことが。なんと大小に関係なく浮いているトマトや沈んでいるトマトがあるのです。「小さいのは浮かぶってこと？」「でも小さいけど沈んでるのもあるよ！」と水の中を覗き込み何故だろうと考えていました。そこで子どもたちに“宿題”として、『何で浮く野菜と沈む野菜があるのかお家の人に聞いたり、保育園の図鑑で調べたりしてみて』となげかけてみました。翌朝「土の中にある野菜は沈んで、土の上にある野菜は浮かぶって」「野菜のなかの水分が多かったら沈むって」といろいろな答えが。じゃがいも、かぼちゃ、ごぼう、れんこん、大根、玉ねぎも加え、再び実験をしてみると、確かに土の中にできる野菜は水に沈むことが分かりました。しかし、土の中に出る野菜でも玉ねぎ、大根、ごぼうは浮いてしまい新たな疑問が…。

たんぽぽ組の実験はまだまだ続きそうです。

